

地域の医療・福祉施設等における看護師の採用状況と 看護師養成所の開設に関するアンケート集計結果

1. 調査の概要

○調査の目的

看護師養成所の開設に向けて、医療・福祉施設等の人員体制の実態把握と、看護師の将来需要や学生の受入等の可能性について把握することを目的とする。

○調査方法等

【対 象】 最上地域における病院・診療所・介護施設等

【実施期間】 平成31年4月10日～令和元年5月31日

【調査方法】 調査票を送付し、FAXによる回答

【回収率】 63.30%（回答数 69／送付数 109）

（内訳）病院 100.00%（回答数 5／送付数 5）

診療所 66.67%（回答数 22／送付数 33）

介護施設等 59.15%（回答数 42／送付数 71）

※介護施設等…介護老人福祉施設、介護老人保健施設、

訪問看護ステーション、デイサービス、有料老人ホーム

2. 調査結果の概要

(1) 平成31年4月1日現在の職員体制について

回答施設内における最上管内の看護師数は、看護師 559 人、准看護師 168 人となっている。不足数として多い職種は看護師 23 人のほか、介護福祉士が 28 人となっており、介護施設等における介護職の不足も目立っている。

（回答施設：69 施設）

（人）

			病 院	診 療 所	介護施設等	計
看 護 師	職 員 数	常 勤	439	35	45	519
		非常勤	18	2	20	40
		計	457	37	65	559
	不 足 数	7	3	13	23	
准 看 護 師	職 員 数	常 勤	24	38	74	136
		非常勤	12	1	19	32
		計	36	39	93	168
	不 足 数	0	0	8	8	
看 護 補 助 者	職 員 数	常 勤	67	11	/	78
		非常勤	17	0		17
		計	84	11		95
	不 足 数	0	1	1		

			病 院	診 療 所	介 護 施 設 等	計
保 健 師	職 員 数	常 勤	0	0	1	1
		非 常 勤	0	0	0	0
		計	0	0	1	1
	不 足 数	0	0	0	0	
医 師	職 員 数	常 勤	62	25	3	90
		非 常 勤	46	3	7	56
		計	108	28	10	146
	不 足 数	9	0	0	9	
歯 科 医 師	職 員 数	常 勤	2	1		3
		非 常 勤	1	0		1
		計	3	1		4
	不 足 数	0	0		0	
薬 剂 師	職 員 数	常 勤	22	1		23
		非 常 勤	2	0		2
		計	24	1		25
	不 足 数	3	1		4	
診 療 放 射 線 技 師	職 員 数	常 勤	25	2		27
		非 常 勤	0	2		2
		計	25	4		29
	不 足 数	0	0		0	
臨 床 検 査 技 師	職 員 数	常 勤	32	5		37
		非 常 勤	1	1		2
		計	33	6		39
	不 足 数	1	0		1	
臨 床 工 学 技 士	職 員 数	常 勤	16	0		16
		非 常 勤	5	0		5
		計	21	0		21
	不 足 数	2	0		2	
理 学 療 法 士	職 員 数	常 勤	28	3	6	37
		非 常 勤	0	0	1	1
		計	28	3	7	38
	不 足 数	0	1	4	5	
作 業 療 法 士	職 員 数	常 勤	21	0	18	39
		非 常 勤	0	0	0	0
		計	21	0	18	39
	不 足 数	1	0	2	3	

			病 院	診 療 所	介護施設等	計
介護福祉士	職員数	常 勤	/	/	425	425
		非常勤			31	31
		計			456	456
	不 足 数	28			28	
その他職員	職員数	常 勤	/	/	122	122
		非常勤			121	121
		計			243	243
	不 足 数	17			17	
福祉士・養士	職員数	常 勤	23	1	/	24
		非常勤	0	0		0
		計	23	1		24
	不 足 数	0	0	0		
事務員	職員数	常 勤	87	51	/	138
		非常勤	2	2		4
		計	89	53		142
	不 足 数	0	2	2		
その他	職員数	常 勤	79	9	60	148
		非常勤	6	0	11	17
		計	85	9	71	165
	不 足 数	0	1	2	3	
計	職員数	常 勤	927	182	754	1,863
		非常勤	110	11	210	331
		計	1,037	193	964	2,194
	不 足 数	23	9	73	105	

(2) 過去5年間の看護職の退職者数、採用人数について

平成27～30年の4年間における退職者数240人に対して、平成28～31年の4年間における採用人数は228人となっており、退職者数が確保されていない。採用人数の内訳として、全体的に経験者の採用が多数を占めており、特に診療所においては、経験者のみの採用となっている。

(回答施設：68施設)

(人)

		H27	H28	H29	H30	H31	計
退職者数	病 院	29	43	38	37	/	147
	診 療 所	2	5	2	8		17
	介護施設等	16	24	20	16		76
	計	47	72	60	61		240

		H27	H28	H29	H30	H31	計
採 用 人 数	病 院	37	39	41	32	18	167
	診 療 所	4	4	3	8	6	25
	介護施設等	14	22	30	15	10	91
	計	55	65	74	55	34	283
うち 新卒者	病 院	11	5	10	9	5	40
	診 療 所	0	0	0	0	0	0
	介護施設等	1	2	0	0	0	3
	計	12	7	10	9	5	43
うち 経験者	病 院	26	34	31	23	13	127
	診 療 所	3	3	3	7	6	22
	介護施設等	12	18	28	13	9	80
	計	41	55	62	43	28	229

※介護施設等の2施設で採用人数の内数が空欄での回答

(3) 退職等による今後10年間の看護職の採用計画について

施設での採用とならないなどの理由により、回答数は53施設となった。計画を策定していない施設を除き、10年間での採用計画総数は316人となっており、年平均31.6人の採用が見込まれている。

(回答施設：53施設)

(人)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
病 院	14	14	15	15	15	13	13	13	13	13	138
診 療 所	3	2	1	2	1	1	0	2	0	0	12
介護施設等	29	17	15	13	14	22	11	13	16	16	166
計	46	33	31	30	30	36	24	28	29	29	316

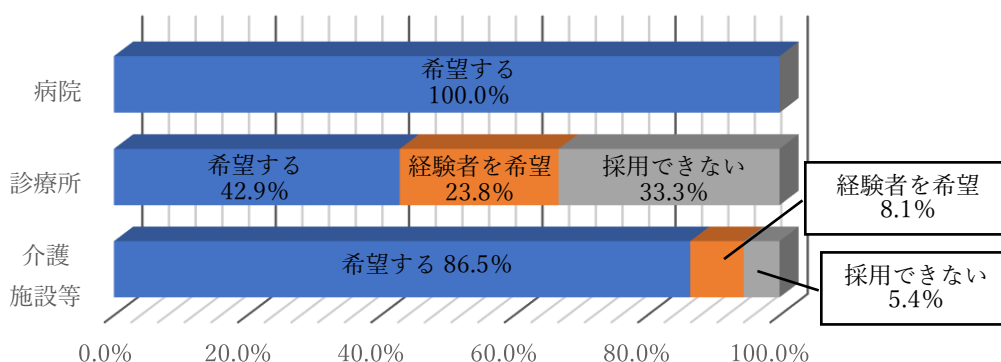
(4) 看護師養成所について

○看護師養成所を新規に卒業した学生の採用は希望しますか。

(回答施設：63施設)

	希望する		経験者の採用を希望		採用できない	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
病 院	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
診 療 所	9	42.9%	5	23.8%	7	33.3%
介護施設等	32	86.5%	3	8.1%	2	5.4%
計	46	73.0%	8	12.7%	9	14.3%

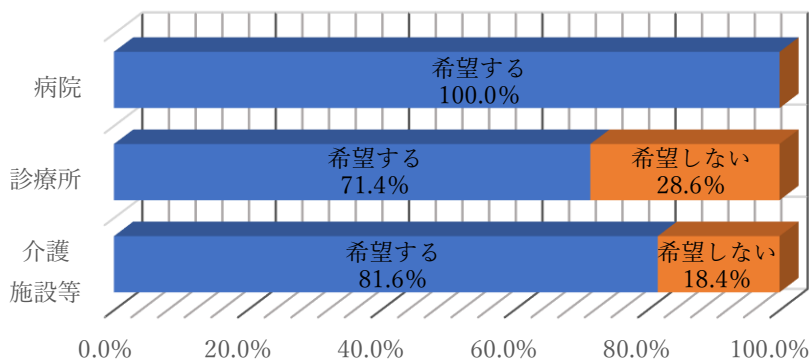
学生の採用をできない理由として、看護師の採用予定がない、経験が必要との回答が多かった。多くの施設で、新規卒業の学生の採用を希望している。



○看護師養成所で職場の情報提供を希望しますか。

(回答施設：63施設)

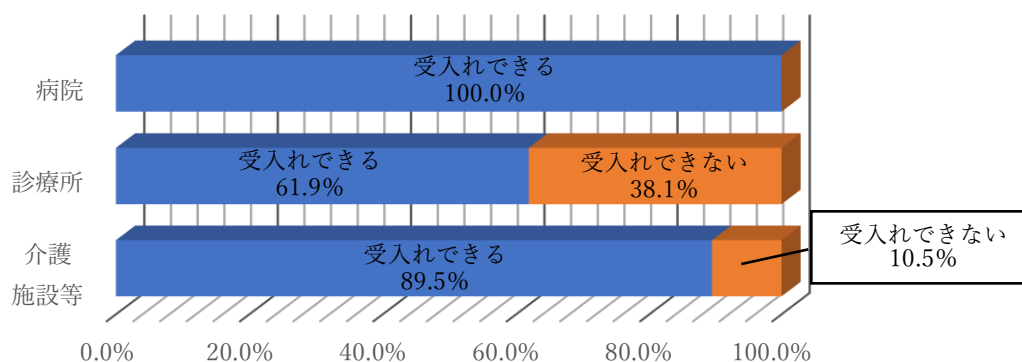
	希望する		希望しない	
	施設数	割合	施設数	割合
病 院	4	100.0%	0	0.0%
診 療 所	15	71.4%	6	28.6%
介護施設等	31	81.6%	7	18.4%
計	50	79.4%	13	20.6%



○学生の職場体験や見学（1日）の受入れは可能ですか。

（回答施設：64施設）

	受入れできる		受入れできない	
	施設数	割合	施設数	割合
病院	5	100.0%	0	0.0%
診療所	13	61.9%	8	38.1%
介護施設等	34	89.5%	4	10.5%
計	52	81.3%	12	18.8%

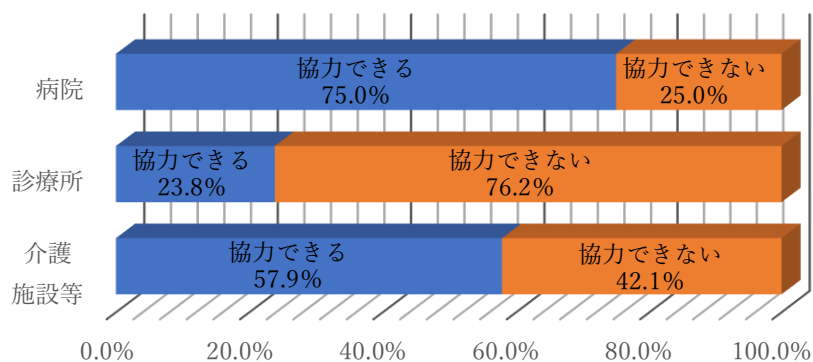


○実習施設として看護学生の実習受入れ（1単位45時間）に協力は可能ですか。

（回答施設：63施設）

	協力できる		協力できない	
	施設数	割合	施設数	割合
病院	3	75.0%	1	25.0%
診療所	5	23.8%	16	76.2%
介護施設等	22	57.9%	16	42.1%
計	30	47.6%	33	52.4%

協力できない理由は、現時点では体制が整っていない、人的余裕がないとの回答が殆どであった。

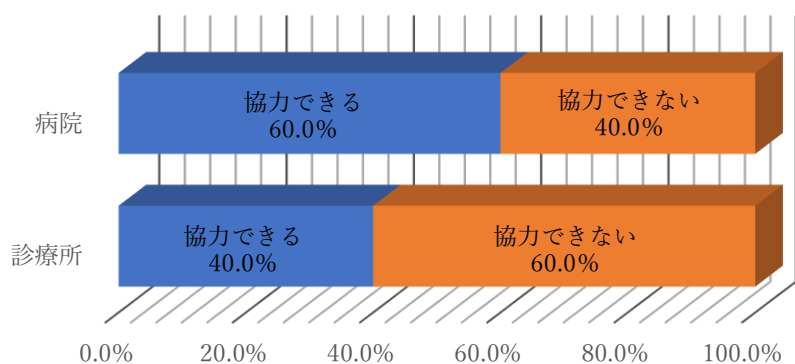


○専門基礎分野（人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進）で非常勤講師として協力は可能ですか。（※病院・診療所のみの設問）

（回答施設：25 施設）

（施設数）

	協力できる		協力できない	
	施設数	割合	施設数	割合
病 院	3	60.0%	2	40.0%
診 療 所	8	40.0%	12	60.0%
計	11	44.0%	14	56.0%



(5) 看護師養成所への要望等について (自由記載)

(回答施設：16 施設)

- ・慢性的な看護師不足にて 2022 年まで安定した人員確保と体制づくりが課題である。地元への就業定着には大いに期待している。
- ・在宅のケアの勉強もしてほしい。
- ・早期の開設を希望します。
- ・看護師の新規採用について情報等、難しい現状がありますので、養成所への期待はおおきいと思います。
- ・看護師養成する事は大変助かりますし大変良い事と思いますが、市報を見るとこれから建つ新庄病院とは離れている所に建設する様ですが、医療を考える時には能率が悪い様に思います。時間の短縮を一番考えるのではないのでしょうか？県立中央病院の様に病院の近くに置いた方が良いのではと思います。
- ・医師数だけでなく、看護師数も最上地域は少ない状況で、看護師養成所開校は大変喜ばしいことです。地元の学校で看護師育成が図れば、貴重な人材の流出も防げ、小～中学生の医療系職業への動機付けにも繋がると期待します。
- ・看護職員の高齢化により若い職員が欲しいので期待はしているが、当施設の特異性と現場は即戦力を求めていることから、長期的な取り組みが必要と思われれます。
- ・施設における看護職員については、配置基準がぎりぎり切実な問題となっている。地元で看護師養成所が開校されるとのことで大いなる期待をしている。卒業したら地元に残るような体制整備を是非お願いしたい。
- ・何と言っても入居者のほとんどが認知症ということで認知症の知識を学んでいただきたいと思う。
- ・病院志向が強く感じられますので、高齢者施設の人員配置や、業務内容の説明を盛り込んで頂きたい。看護師の勤務する事業所の理解。(医療機関以外も)
- ・医療的ケア、看取り等求められているが、慢性的な看護師不足の状態である。看護師は経験による判断等が必要であり臨床経験豊富な方を求めています。臨床実習等を多くし、即戦力になる人材の育成をお願いしたい。
- ・在宅看護分野等の講義、実習は協力させていただきますので、宜しくお願いいたします。
- ・在宅看護の重要性を説く授業があることを期待している。
- ・地元で働き、地域に貢献して下さる人材育成をして頂き、医療分野に従事する人材が生きがいを持ち業務遂行が行われ根付くように期待致します。
- ・養成所を卒業した生徒が県外に流出しない仕組みも考えて欲しいです。
- ・高齢者、障害者など各福祉分野での知識を深めて頂けると幸いです。
- ・福祉施設の看護師が不足しています。福祉施設に勤務できる看護師を希望します。